

施策番号 5-2-2	施策名 健全な財政運営	基本目標	町民が主役となった自治に基づくまちづくり			
		政策名	安定した行財政運営と町民サービスの推進			
	主管課	企画財政課	課長名	石田 哲	内線	220
	施策関係課	税務課・出納課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
安定した行政サービスの提供に向け、収支のバランスがとれた健全な財政運営をすすめます。		町財政	財政が健全な状態である(一般・特別・事業会計)→収支のバランスが取れ、黒字の状態				行政サービスを安定的に提供できる
成果指標	説明	単位	2011年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標	
① 経常収支比率	地方財政状況調査	%	79.4	84.6	84.9	85.0%未満	
② 健全化判断比率(実質公債費比率・将来負担比率)	地方財政状況調査	%	実質公債費比率 9.9 将来負担比率 17.4	実質公債費比率 4.4 将来負担比率 2.6	実質公債費比率 3.7 将来負担比率 8.5	実質公債費比率 17.0%未満 将来負担比率 50.0%未満	
③ 町税徴収率	地方財政状況調査	%	97.8	98.9	99.1	98.1	
成果指標設定の考え方	①②後期実施計画に基づき策定した財政計画で推計した財政指標を目標値とした。 ③後期実施計画策定時の収納率が97.8%で前期実施計画の目標(97%)をクリアしていたことから、目標を98%としていた。後期実施計画見直し時に98.1%と目標をクリアしていたため、現状の収納率を下回らないよう98.1%に上方修正した。						

2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	43,559	42,793
人工数(業務量)	17,9359	18,9867

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2018年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	2018年度の指標はまだ明らかになっていないが、前年度から大きな変動はないと思われる。
②第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	2018年度の指標はまだ明らかになっていないが、目標値は達成している可能性が高い。しかし、事業会計の中には、赤字になっているものもあり、全体としては、概ね達成という評価と考える。
(2) 施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	財政基本計画策定事務 町税等滞納徴収事務	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> 第5期総合計画に併せて、「中期財政計画」を策定し、中期的な目標と目標達成のための取組について記載した。 滞納者は複数の税や料金を滞納しているケースが多く、生活実態を的確に把握し、納税相談に対応することと、業務効率化を図るため、徴収部門を一元化し収納率向上に努めた。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》 歳入の確保、歳出の抑制は健全な財政運営に欠かせないものであるが、現在の社会・経済状況に鑑みた経済危機対策・人口対策などの事業の実施は必要である。</p> <p>《今後の予測》 公共施設の老朽化による大規模修繕などに備えるとともに、バランスのとれた財政運営を図っていかなければならない。また、国全体の財政悪化による地方への影響も注視していく必要がある。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	議会においては、財政調整基金残高を中心に、財政健全化に関する意見がある。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たにに取り組むべき課題)

課題① 健全な財政運営	評価・予算に連動した中期財政計画を毎年度見直しながら、総合計画を着実に推進する必要がある。 多様化する住民ニーズや、施設の老朽化・庁舎建設などによる起債残高が大幅に増加した。
課題② 各会計の健全化	特別会計・事業会計の繰出しが一般会計の収支に影響を及ぼしていることから、独立採算性の原則を徹底する必要がある。
課題③ 町税等の確保	町税等の滞納対策を強化するため公金徴収一元化を実施しているが、運用状況を点検しながら推進する必要がある。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	指標はすべて目標を達成しており、策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果					○		
今後の取組に対する意見	総合計画に基づき着実に進めていってほしい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価と同じく策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果					○		
今後の取組に対する意見	町税徴収率だけでなく、町内で資金や消費がどのようにまわっているかといったことも重要であり、それらを考えた取組を進めてほしい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					